

平成29年度糖尿病予防対策関係者研修会実施要領

1. 目的

県民の40～74歳の約4人に1人が糖尿病予備群または有病者という状況の中、糖尿病の発症、重症化、合併症を予防するためには、多機関、多職種連携による切れ目のない保健医療サービスを推進していく必要がある。そのためには、各関係機関や各職種がそれぞれの取組み状況や役割を知り、連携する意識を高めることが重要である。

そこで、本研修会では、糖尿病の発症、重症化・合併症予防に関わる関係者が、最新の糖尿病治療の考え方や熊本県における糖尿病予防対策の現状等を知り、今後それぞれの場において、特定健診・保健指導の体制整備、適切な治療管理や療養指導、多職種・多機関連携による保健医療サービスの提供体制整備、ひいては医療費適正化対策等に活かすことができるようになる。

2. 主催者：熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課

3. 対象者：市町村、保健所、医療保険者、健診機関、保健医療関係者等県民の健康づくりに携わる関係者等

4. 日時：平成29年12月11日（月）14：00～16：30

5. 場所：熊本県庁本館地下大会議室

6. 内容：（計150分）

■【行政説明】（20分）

本県の糖尿病対策について

（健康づくり推進課 主任技師 柳田彩）

■【講演】（質疑応答含む70分）

演題「糖尿病予防と治療の最前線 ～合併症の発症・進展阻止のために～」

講師 荒木栄一氏 熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学教授

（休憩5分）

■【報告】（各15分×3=45分）

報告①熊本地域糖尿病療養指導士 CDE-Kumamoto について

（熊本大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 特任助教 石井規夫氏）

（熊本大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 医員 川崎修二氏）

報告②（予定）平成28年度「糖尿病性腎症重症化予防プログラム開発のための研究」への参加について

（荒尾市健康生活課国保年金係 副主任 田中彰氏）

報告③熊本県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

（健康づくり推進課 主任技師 柳田彩）

■【質疑応答】（10分）

糖尿病予防対策関係者研修会

時間	内容
13:20	開 場（県庁地下大会議室）
14:00	開 会 挨 拶
14:00～14:20 (20分)	【行政説明】本県の糖尿病対策について (熊本県健康づくり推進課 主任技師 柳田彩)
14:20～15:30 (70分)	【講演】 演題「糖尿病予防と治療の最前線 ～合併症の発症・進展阻止のために～」 講師 荒木栄一氏 熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学教授
15:30～15:35 (5分)	休 憩
15:35～16:20 (45分)	【報告①】 15:35～15:50 「熊本地域糖尿病療養指導士 CDE-Kumamoto について」 (熊本大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 特任助教 石井規夫氏) (熊本大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 医員 川崎修二氏) 【報告②】 15:50～16:05 「平成28年度「糖尿病性腎症重症化予防プログラム開発のための研究」への参加について」(予定) (荒尾市健康生活課国保年金係 副主任 田中彰氏) 【報告③】 16:05～16:20 「熊本県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて」 (健康づくり推進課 主任技師 柳田彩)
16:20～16:30 (10分)	質疑応答
16:30	アンケート記入、閉会